

貯穀害虫同定検査



2026年4月1日をもって株式会社ニッポンジーンと株式会社ニッポンジーン マテリアルは吸収合併を行いました。
製品に関するお問い合わせは株式会社ニッポンジーンへお願いいたします。

検査項目	価格	備考
コクゾウムシ類同定検査（10検体/キット）	¥	
カツオブシムシ科同定検査（10検体/キット）	¥	

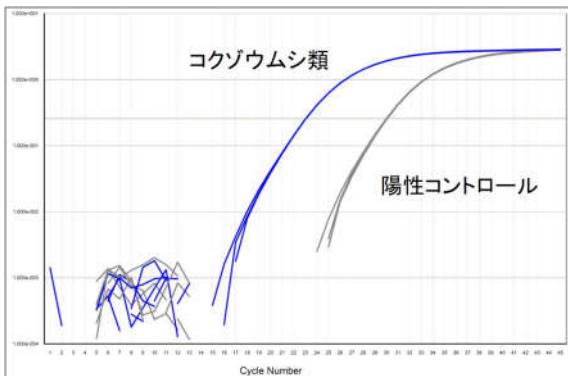
表示価格は希望納入価格（税別）です

貯穀害虫同定検査について

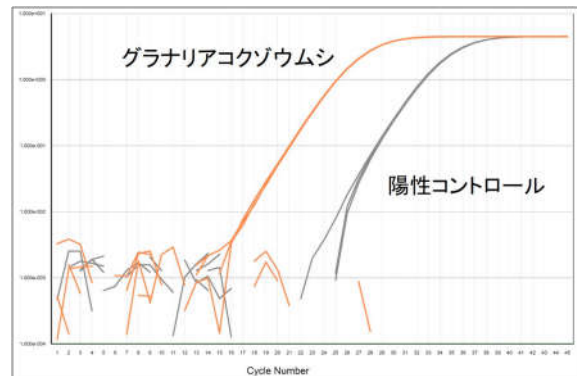
本サービスは、お客様よりお送りいただきました「貯穀害虫」検体から、遺伝子検査（PCR検査）を実施し、植物検疫上重要なグラナリアコクゾウムシおよびヒメアカカツオブシムシと他のコクゾウムシ類、カツオブシムシ科と判別する同定検査サービスです。

【コクゾウムシ類同定検査】

コクゾウムシ類検出



グラナリアコクゾウムシのみ検出

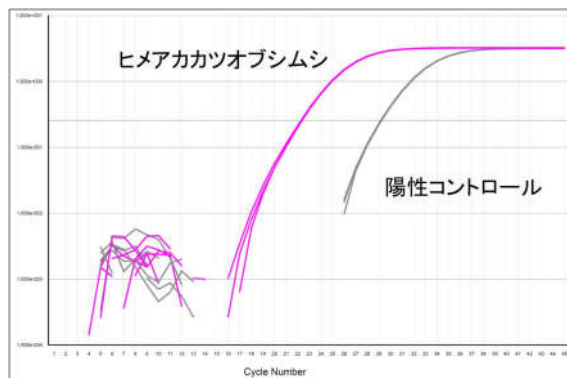
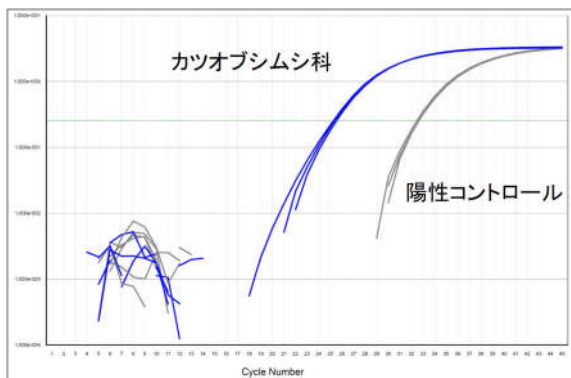


◎ 両方の検出系で遺伝子増幅が確認された場合、**「グラナリアコクゾウムシ」**と推定されます。

【カツオブシムシ科同定検査】

カツオブシムシ科検出

ヒメアカカツオブシムシのみ検出



◎ 両方の検出系で遺伝子

増幅が確認された場合、「**ヒメアカカツオブシムシ**」と推定されます。

特長

貯穀害虫（検体）をお届けする専用容器に入れてお送りいただくのみ。



外観から種を判別することが難しい検体から、遺伝子検査により正確かつ迅速に判別可能な検査です。



貯穀害虫同定検査の意義/メリット

グラナリアコクゾウムシおよびヒメアカカツオブシムシは、植物防疫法で輸入が禁止されている貯穀害虫ですが、外観から判別するのは難しい（熟練した専門家による鑑定などが必要）とされています。

現在、日本には存在しないとされていますが、グラナリアコクゾウムシおよびヒメアカカツオブシムシは我が国の検疫対象害虫として植物防疫法施行規則のリストに挙げられています。

本サービスをご利用いただくことにより、正確かつ迅速にグラナリアコクゾウムシおよびヒメアカカツオブシムシなのか、他のコクゾウムシ類およびカツオブシムシ科なのかを推定することができ、迅速に対策を講じることが可能となります。

推定可能な害虫

「植物防疫法で輸入が禁止されているグラナリアコクゾウムシ」と「他のコクゾウムシ類」を判別

「植物防疫法で輸入が禁止されているヒメアカカツオブシムシ」と「他のカツオブシムシ科」を判別

報告書例

[お問い合わせ](#)

[プライバシーポリシー](#)

Copyright© Nippon Gene Material Co.,Ltd.

トマト黄化葉巻病検査サービス



2026年4月1日をもって株式会社ニッポンジーンと株式会社ニッポンジーン マテリアルは吸収合併を行いました。
製品に関するお問い合わせは株式会社ニッポンジーンへお願いいたします。

遺伝子検査の流れ

Step1

ご注文



ご注文はインターネット
からお申込みください

Step2

キット一式のお届け



トマト黄化葉巻病検査サ
ービスキットをお送りい
たします

Step3

検体のご返送



「検体保管用容器」にト
マトの葉をそれぞれ1枚い
れて、「検査依頼書」と
一緒にクール宅急便（冷
蔵タイプ）にてお送りく
ださい

Step4

遺伝子検査



トマトの葉(検体)から遺
伝子検査を実施します

【ご利用上の注意点】

- 採取した検体は、添付の検体保管用容器に入れて冷蔵保存を行い、採取後2日以内に“クール宅急便（冷蔵タイプ）”にて弊社までお送り下さい。
検体の状態によっては、検査結果が得られない事がございますのでご注意ください。
尚、お送り頂いた検体は検査終了後に廃棄処分する為、返却することは出来ません。
- 検体を一度に“まとめて”お送り下さい。
全ての検体が届いていない場合、残りを後から検査する事は出来ませんのでご注意ください。
- 検査結果は、お送り頂いた検体に対する結果となります。
感染初期などでは、検体の採取場所によっては“検出されない”事もございますので予めご了承下さい。
- ご依頼者が管理されている植物以外の検査依頼はご遠慮下さい。
検査結果が原因で生じたトラブルについて弊社は一切の責任を負うことは出来ません。
- 検査サービスキットを送付してから、2ヶ月以内に検体を弊社までお送り下さい。
期間を越えると検査を行うことが出来ませんのでご注意ください。
- 検体が到着後、2週間以内に検査結果をメールにてご連絡致します。
ニッポンジーン マテリアルからのメール（[こちら](#)）が受信できるように、予め設定が必要な際はご対応をお願い致します

トマト黄化葉巻病とは

トマト黄化葉巻病は1990年代半ばに日本国内に侵入したトマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV; *Tomato yellow leaf curl virus*）の感染により引き起こされるウイルス病です。

トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）が感染したトマトは葉の黄化や萎縮により生育不良を起こし、その結果、トマトの収量が減少します。病徴が認められないトマトの葉や、無病徴のトマト黄化葉巻ウイルス抵抗性品種においても、トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）が潜伏している場合がありますので注意が必要です。

トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）はタバコナジラミによって媒介されますが、タバコナジラミは非常に微小な害虫であり、更に、薬剤への抵抗性があるタバコナジラミバイオタイプQの分布も拡大している為、ウイルス防除対策を困難にしています。

感染被害拡大を防ぐためには感染株を早期に発見し、対策を講じる必要があります。一般的に、トマト黄化葉巻病を発病したトマトは抜根・除去し、媒介虫であるタバコナジラミは農薬や黄色粘着板などを用いて徹底防除して被害拡大を防ぎます。

関連情報

LAMP（Loop-mediated Isothermal Amplification）法は、栄研化学株式会社により開発された日本産の等温遺伝子増幅法です。

関連サイト

ニッポンジーンポータルサイト

[特集記事014 トマト黄化葉巻病の症状と防除対策](#)

問い合わせ先

製品に関するお問い合わせ先

株式会社ニッポンジーン

[検査・診断試薬に関するお問い合わせ](#)

*お問い合わせフォームは、(株)ニッポンジーンが運営する植物病診断キット/サービス紹介のポータルサイトに移動します。

株式会社ニッポンジーン マテリアル

E-mail : info@nippon-gene.com

[▲ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#)



マウスジェノタイピングサービス



2026年4月1日をもって株式会社ニッポンジーンと株式会社ニッポンジーン マテリアルは吸収合併を行いました。
製品に関するお問い合わせは株式会社ニッポンジーンへお願いいたします。

本サービスは、マウスの組織片を検体としてお客様からお送りいただき、ジェノタイピング解析を実施してジェノタイプ（遺伝子型）を報告するサービスです。

基本サービス内容

1. 検体からのDNA抽出

マウスの耳介や尾などからDNAを抽出します。

2. リアルタイムPCRによるジェノタイピング

リアルタイムPCRプローブ法、リアルタイムPCRインターカラー法といった検出方法で遺伝子型の解析を行います。

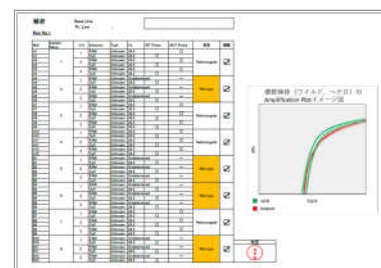
原則的には、1検体に対してPCR3反応（n=3）を実施します。

その他の検出系についてはヒアリング時にご相談ください。

3. ジェノタイピング報告書の送付

各検体の遺伝子型の判定結果をジェノタイピング報告書（PDF）にまとめて、メールにてお送りします。

納期例： 100検体の場合、検体受領後5営業日目に結果をご報告します。



※ 報告書例：クリックすると拡大します

最初にセットアップ（条件検討）を実施します

ご依頼のジェノタイピングが実施可能であることを確認するために少数の検体をお送りいただけます。

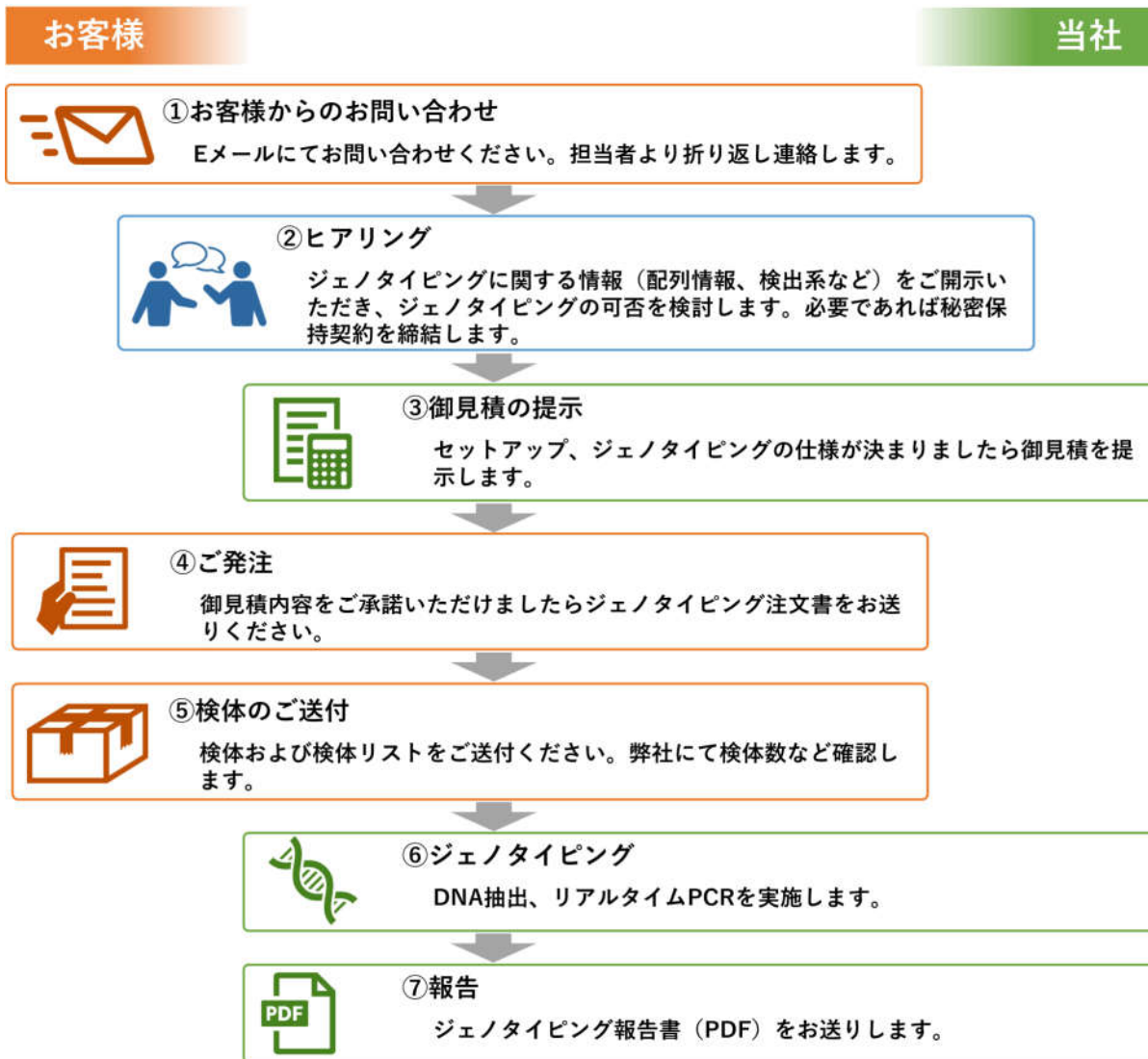
例： 検体数 各3検体（トランスジーンタイプ 3検体、ワイルドタイプ 3検体お送りいただき、条件検討の結果について約4週間でご報告します。

オプション

ジェノタイピングサポートプログラム

PCR検出系を改善したい方、インタカレータ法からプローブ法に変更したい方のために、プライマーペアのデザイン、プライマーペアおよびプローブのセットのデザイン、PCR反応条件の調整・開発などのサポートもご用意しています。

マウスジェノタイピングサービスの流れ



問い合わせ先

お客様のご要望に合わせて柔軟に対応いたします。お気軽にご相談ください。

E-mail : info@nippon-gene.com

[▲ページトップへ](#)

[お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#)